

事業所名

児童通所支援ぽっとまむ（放課後デイサービス）

支援プログラム

作成日

2024年

10月

1日

法人（事業所）理念	「生きる」「育つ」「守られる」「参加する」の4つの権利を守り、自己表現のできる、個性豊かな人に成長していくことを願っています。		
支援方針	集団の療育を実施し、室内・公園での運動活動や制作活動、調理活動などを通して、心身の発達を促すほか、子ども同士で話し合いながら活動を組み立てる機会をつくり、お互いに人格と個性を尊重しあひながら、社会の中で共生していける力を身につけられるよう支援を行っています。		
営業時間（学休日）	10時00分～19時00分 (9時00分～18時00分)	送迎実施の有無	あり
支 援 内 容			
本人支援	健康・生活	おやつやお弁当、クッキングの時間を設け、様々な形態や味の食べ物を友達と一緒に食べる経験を積み、食事の楽しさや摂食嚥下、食具訓練を楽しく実施します。 タイムスケジュールに沿った活動を設定し、生活リズムの安定を図ります。 運動系の活動でたくさん身体を動かしたり、制作活動やクッキングといった物作りの活動で物の成り立ちを学んだりします。また、集団で行動する意識を育てます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	運動・感覚	転がしドッジやバスケットボール、風船バレーなどの運動活動により、視覚的に物をとらえたり俊敏性を養います。また、集団活動を通して協調性を育てます。 サーキットなどで遊具を使った運動活動を行い、固有感覚・皮膚感覚・バランス感覚への刺激を促し、身体機能向上につなげます。また、繰り返し実施することで定着を促します。 音楽活動により、自主性や自己表現能力を育み、音やリズム感を楽しみます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	認知・行動	制作活動で手先指先を使用することにより、物を介した感覚を認知し、時間をかけて1つの作品を作り上げる喜びや達成感を味わいます。 クッキングを通し、買い物・調理といった日常生活スキルの習得につなげます。また、季節の食材を通し、食への興味関心を高めたり、季節感を楽しんだりします。 オセロなどのアナログゲームを取り入れ、他者とのやり取りを通し、視野を高めたり、協調性を養ったりします。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	言語 コミュニケーション	毎日のはじまりの会や終わりの会を行い、言語コミュニケーションを図ります。 紙芝居や絵本の活動を取り入れ、絵や言葉を通して物語の世界観を楽しみながら、言葉からイメージを上げられるよう支援します。 個々の課題に合わせ、プリントや絵カードといったツールを用意し、個別に取り組む時間を設けます。 他者からの声に耳を傾け、他者と自分の違いを考えたり、認め合ったりしながら、自己発信できる力を身につけます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
	人間関係 社会性	事業所職員との関わりを通し、信頼関係の構築と安心感の獲得を図ります。 他利用者さんとの関わりを通し、幅広い年齢の友達との関わりの中で、他者の存在を知る機会を得ます。 駄菓子屋さんなど社会の模擬活動を行い、社会性の習得や社会のルールなどの理解につなげます。 ボードゲームなどを通し、様々なルールの理解や集団での協調性を学びます。 個人の発達段階に合った支援を行い成長発達を促します。	
家族支援	日常生活において、社会資源が足りているかを確認し、必要に応じてアドバイスやサポートを行います。 困りごとなどが発生した際は、随時電話での相談または面談の機会を設けます。	移行支援	ライフステージの切り替えを見据えた、地域の生活の場や育ちの場との交流と情報交換をします。
地域支援・地域連携	他の通所支援事業所との交流と情報交換をします。 地域連携会議への参加をします。	職員の質の向上	毎朝ミーティングを行い、情報共有をします。 外部研修の受講・事業所内研修の実施などがあります。
主な行事等	夏まつり・ハロウィン・クリスマスパーティー・進級お祝いなどを行います。 近隣施設・公園へのお出かけをします。		